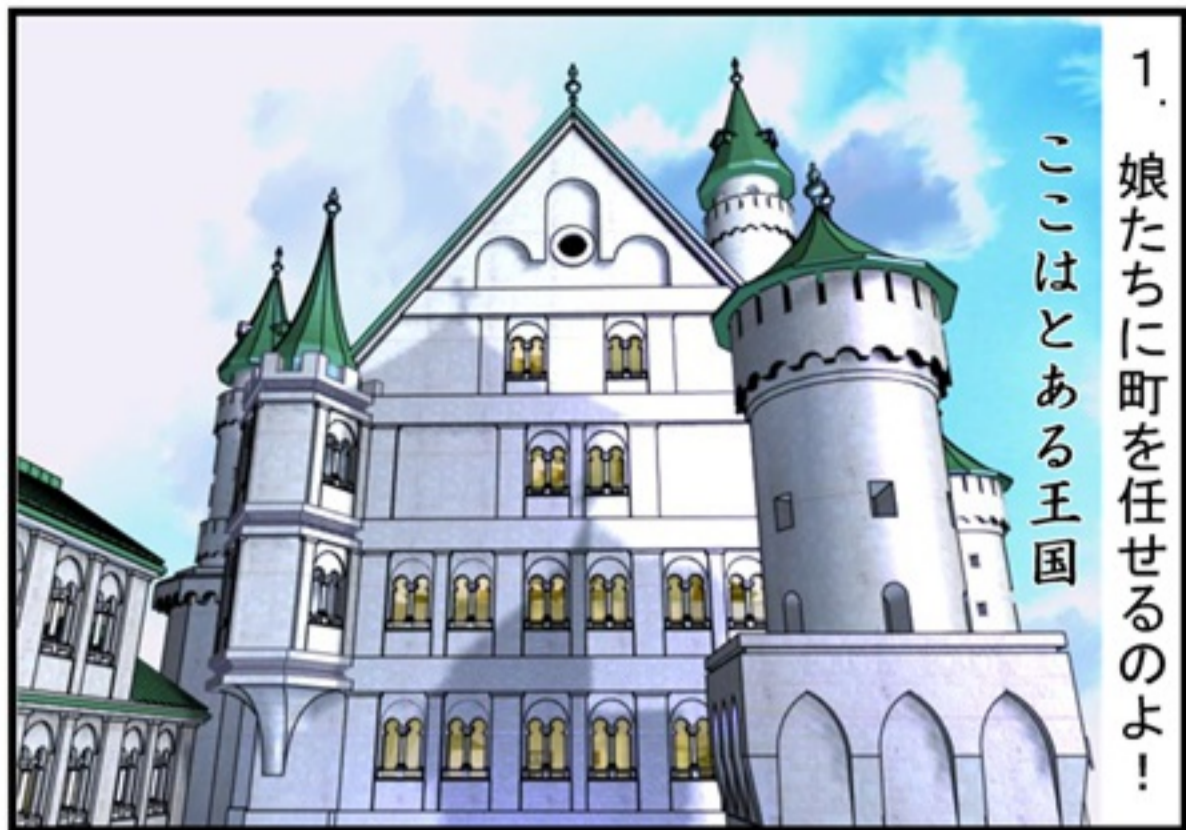


女王様と 萌え萌え三姉妹

一気読み!

マンガでわかる
地方財政シリーズ 2
～地方交付税と地方債～









作者からの「挨拶」



どうも作者です。
日野市で市民が作る
財政白書を作っていた者です。

今回は、わかりやすい財政資料の
第二弾として、
「地方交付税と地方債」
の説明を試みることにしました。

そもそも「地方交付税と地方債」
というタイトルからしてわかりにくい
ですよ。要は
地方交付税 Ⅱ 国からの援助
地方債 Ⅱ 借金
なのですが。

実は私のブログの方では、猫の国に
例えて物語風にまとめるとい
う試みをしており、
一部の方にはそれなりに評価を
いただいているのですが、
やはり多くの人に見ていただく
ためには工夫が必要だろう。
ということと、今回コミP.O.！を
活用することとしました。

猫の国の話ということ、
本当に猫の絵にする
という手もあったのですが。

私？

せっかくコミP.O.！で萌え系の絵が
使えるので、主人公は女の子。
に思い切ってしてしまいました。

髪型や洋服などを変えれば
キャラクターのバリエーションを
増やせるというのも大きな理由です。

主人公をイケメン男子にするとい
う手もあるのですが、まあ私は男子
なので、主人公が男子だとノリがね。

え〜っ

少し中身の話をしますね。

設定としては、
女王 Ⅱ 国（中央政府）
三姉妹 Ⅱ 地方自治体
です。

地方分権一括法という法律により、
国と地方自治体は上下の関係ではなく、
対等の関係ということになりました。
ということなので、親子の設定に
することは本来はおかしいのです。

しかし、戦前は知事は国から任命され
ていたり、戦後も財政や人事、規制
などで中央集権的な状況が長く続き、
一般的な市民の意識としては、
国 Ⅱ 都道府県 Ⅱ 市町村
という意識が刷り込まれている
と思うので、あえて、ここは
国と地方を親子関係にしました。

でも、本当にあるべき姿としては
違うんだよ。 ということとは
覚えておいてね。

対等？

まずは前回の場面から

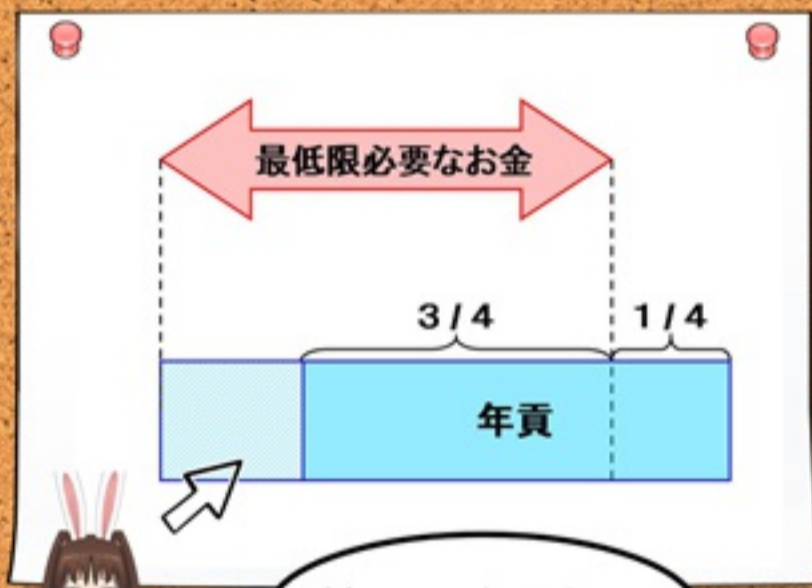






あなたの方の年貢の4分の3が、必要最低限に足りないときは、その分を補てんしましょう。

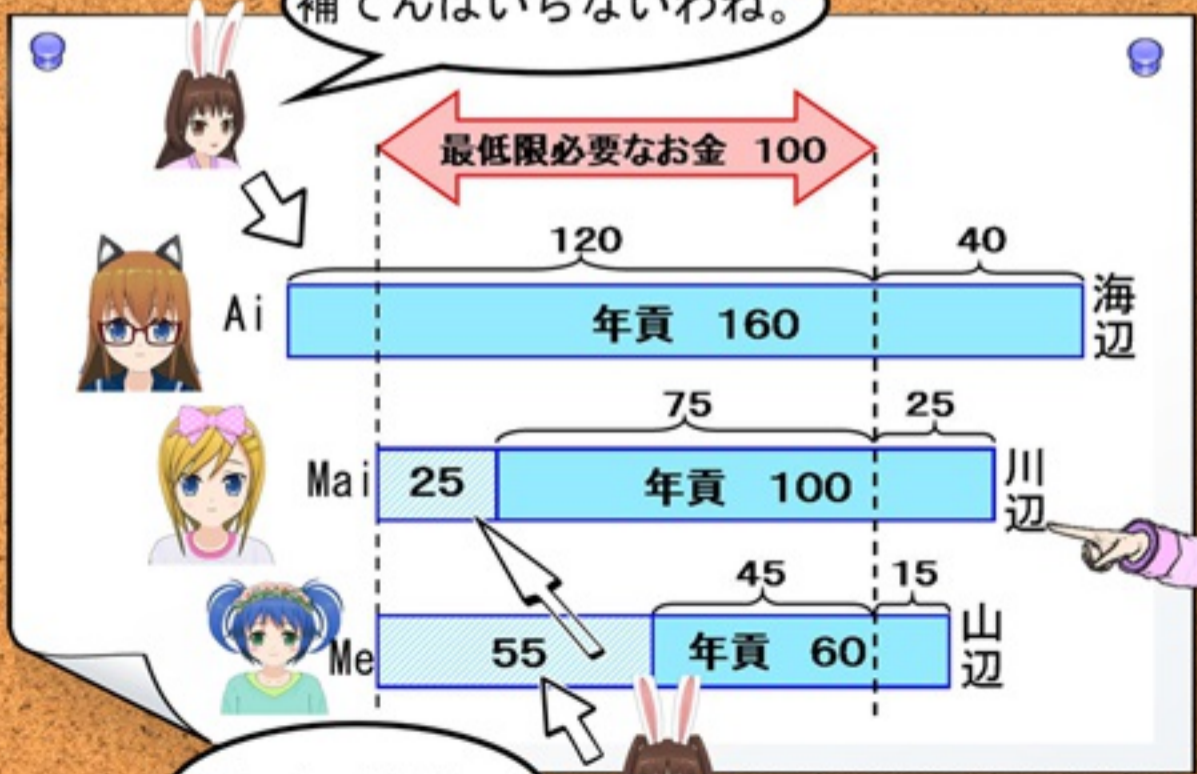
努力すれば収入も増えるし、年貢の4分の1は最低限以外のことにも使えるでしょ。



補てんするわ!

今年のお金は私が見たところこうね。

補てんはいらないわね。



補てんするわ!

なんとなく、うまくいきそう? これでもいいのか、萌え萌え三姉妹



解説です。



どうも作者です。
なんとか2回目掲載できそうです。

今回は地方交付税の基本的な仕組みの紹介です。
地方交付税っていうと、何か税金を取られているようなイメージですが、そうではありません。

日本には47都道府県と約1700の市町村がありますが、大企業があったり、お金持ちが多かったりして豊かなところもあれば、特に産業もなく、税金があまり入らないところもあります。

でも、日本国民であれば、最低限の健康で文化的な生活を営む権利があり、最低限必要な行政サービスができるようにする必要があります。

ということ、一旦国が集めた税金の中から一定の割合を不足分の補てんとして確保しておくことと、してきます。

一定割合をあなた方のために確保しておきましょう。



3D化してみましたぞ。

専門用語でいうと、「最低限必要なお金」のことを「基準財政需要額」といいます。
マンガ上は、「最低限必要」と言ったほうが、わかりやすいのでそう表現していますが、実際は「標準的に」必要なお金のことです。

ちなみに女王様が言っていた、見込みの年貢のことを「標準税収入」といい、その3/4の金額を「基準財政収入額」といいます。

「基準財政収入額」が「基準財政需要額」を下回ればその分が補てんされ、その補てんされるお金のことを「地方交付税」といいます。

補てんするわよ〜ん。



今回はわかりやすさのために、全ての町で、必要なお金を100としましたが、本当はそれぞれの町で違ってきます。

それについては、次回以降。さて、設定では愛ちゃんの町は補てんが必要ありませんでしたが、そのような市町村（都道府県）を不交付団体といいます。

地方「交付」税が、交付されないのが不交付団体。

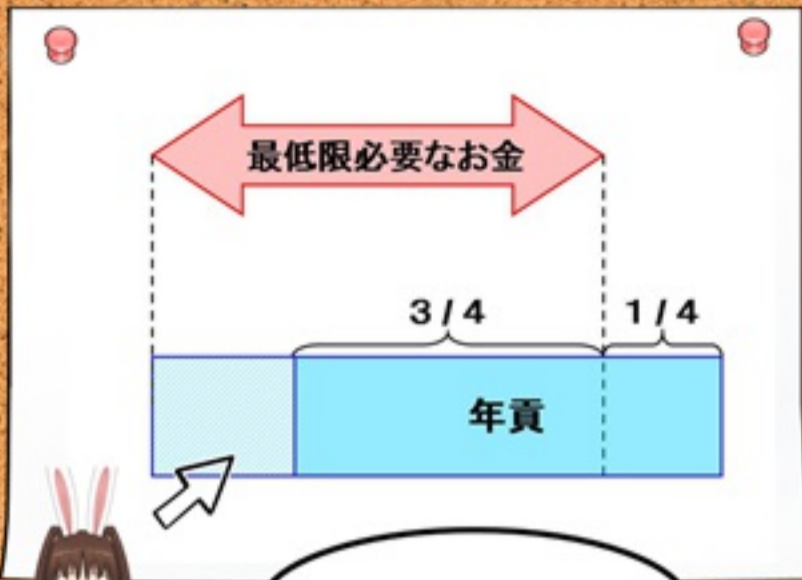
実は平成22年度でみると、不交付団体は都道府県では東京都のみ市町村は1724団体中、わずか70団体です。

このマンガでは3つのうち一つが不交付団体ですが、実際はほとんどが国からの補てんを受けているというのが実態です。

不交付団体よ。

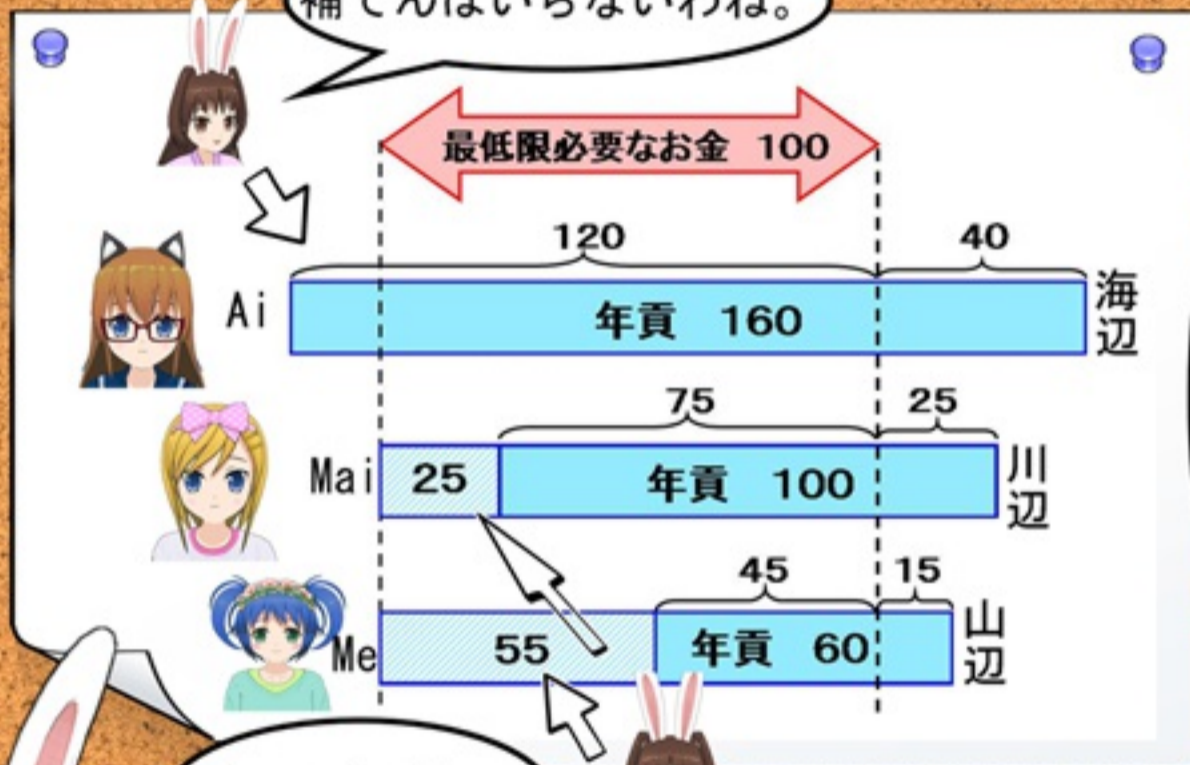


前回の復習からよ。



補てんするわ！

補てんはいらないわね。



必要最低限のお金と、年貢の3/4の差額を補てんすることは覚えていけるわよね。

補てんするわ！

100は、去年の実績よ。今年これを下回ったら、その次の年に考慮するわ。でも、年貢の徴収漏れとかは自己責任でお願いね。

年貢が100集まらなかったらどうするんですか。





解説です。



どうも作者です。
多くの方に見ていただき、
本当にありがとうございます。
思っています。

前回は地方交付税の基本的な仕組みを
紹介しました。

ところで、最低限必要なお金って
どうやって決めるんでしょう？

簡単にいうと、国が決めていきます。
総務省という役所が、一定の基準に
したがって算出しています。
マンガでは、説明のためそれぞれの
町が最低限100ずつ必要としまし
たが、実際はそれぞれの町で事情は
さまざまなので、計算は非常に複雑
です。

実はこの基準は毎年毎年変わります。
なので、それぞれの市にとっては、
次の年にどれぐらいもらえるか。
というのには、総務省が計算結果を
明らかにするまで
わかりません。



女王様のために働くのさ

私が決めます！



誰のまね？

ちなみに最低限の金額は、
人口や面積、道路の長さや面積、
小学校の数、児童数などに、
それぞれ一定の係数を掛けて合計し
て計算されます。
(その係数が毎年変わるので。)



ところで、
災害があった場合など年の途中で
何かあった場合などに、国から
交付されるものを「特別交付税」
といい、「地方交付税」と同じ財源の
中から地方自治体に配られます。
(ちなみに特別交付税以外を
「普通交付税」といいます。
普通交付税・特別交付税
1194...6となっています。)

特別交付税にも一応基準がありますが、
「特別の事情が存する場合」は
減らしたり増やしたりできること
となっております。
例えば、国のいうことを聞かない市は
減額したりとか、
市町村をコントロールする手段と
しても使われています。

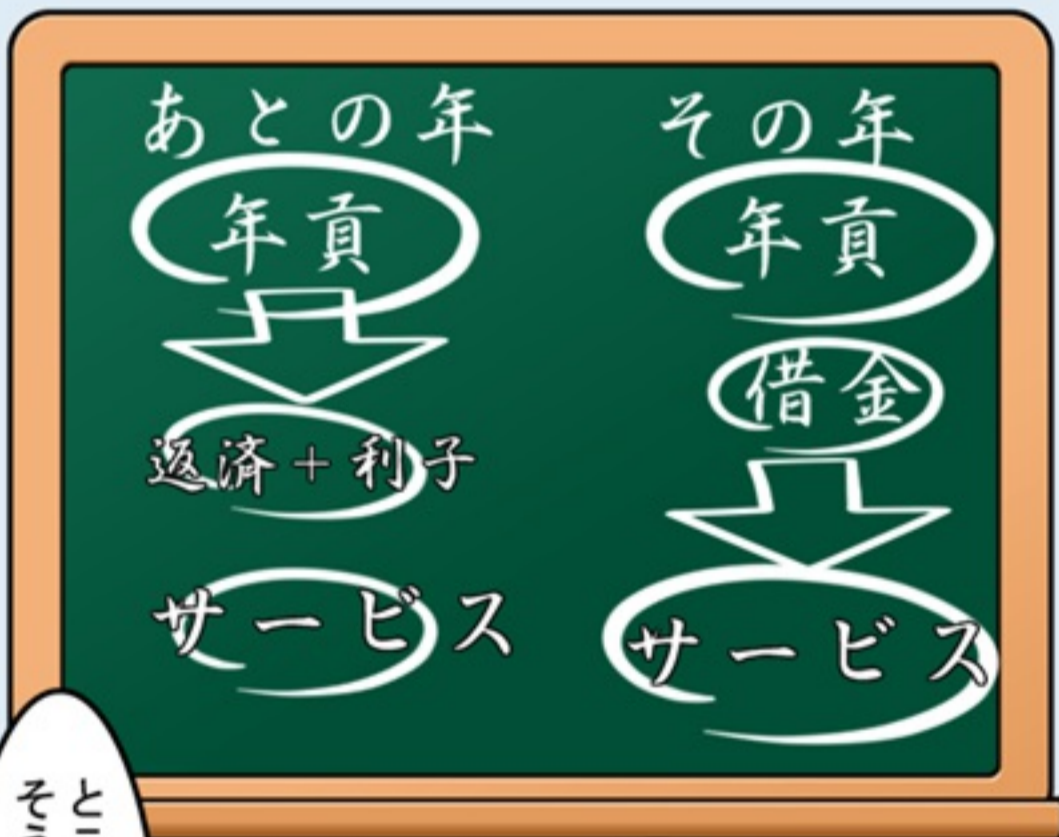


次回からこの連載のもう一つの
テーマである市町村の借金
の専門的にいえば地方債について、
の説明に入っていきます。

それから、
借金はくれぐれも慎むように。

それはどうしてですか？

今日のお話は「こ」からだよ。



借金は結局、民からの年貢から返さないとイケないわ。しかも、利子をつけてね。

今年のサービスのために借金すると、将来のサービスを減らすことになってしまうのよ。

だったら、プラマイゼロじゃない？

ところが
そうでもないのよ。





解説です。



どうも作者です。
素材を提供いただいたいる
ぐったりにゃんこさんには
改めて感謝です。

さて、今日は借金は控えて！

という話。

日本が膨大な借金を抱えていることを
ご存知の方は「本当？」と思われる
かもしれませんが、
実は、法律上、原則としては、
借金はしていけないことになって
います。(信じられないでしょ。)

例えば

財政法第4条

「国の歳入は、公債又は借入金以外の
歳入を以て、その財源としなけれ
ばならない。」

「地方財政法第5条

「地方公共団体の歳入は、
地方債以外の歳入をもつて、
その財源としなければならぬ。」

とあります。
もつとも直後から例外規定が
出てくるのですが。



ところでどうして借金をしてはいけ
ないことになってるのでしょうか？
それは、家計を思い浮かべるとわかり
やすいでしょう。企業と違って家計は
お金を使うことを目的としています。
お金を使って満足を得るためです。

お金は使うほど満足は大きくなります
が、収入以上には使えません。
借金をして消費することもできますが、
できても一時的なものなんです。
使えるお金に限られるからこそ、
我々は安くてよいものを求め、それを
提供する人が世の中に支持され、
よりよいものが供給されるように
なるのです。

市や町もこれと似ています。
みんなから集めたお金を使うこと、
あるいは必要な人に分けることで、
社会全体の満足、幸せを増やすことを
目的としています。



市や町が家計と違うところは、
「マンガでわかる！ 私たちのまちの
財政」で紹介したように、
みんなのお金をみんなが使うときは
結局は自分たちのお金を使っている
という感覚がなくなることで、
つまり、「財政錯覚」が起こること。
そして、借金が個人に比べれば
簡単にできることでしょう。

久しぶり。
「マンガでわかる財政」
でググると
トップに出るわ。

2011年6月現在



あれもほしい。これも必要。という
ときに、家計ならば我慢するところか
やりくりするところですが、もし
借金ができるものならば、そして
それを直接自分が返済しないならば
つい借金をしたくなるのが人情。
だからこそ、わざわざ法律で
歳入の範囲での支出すること。
すなわち借金をしないことを
定めているのでしよう。



借金はくれぐれも慎むように。

第三話

お母様
いってることが
矛盾してます！



別に借金をしていけない
とは言っていません。
借金をしていいときも
あるのよ。

第四話

別に矛盾してません。

その年に使ったら
なくなるもののため
に
借金するのはダメ
だけど。

建物のように
後の年まで
使えるものは
借金をしても
いいのよ。

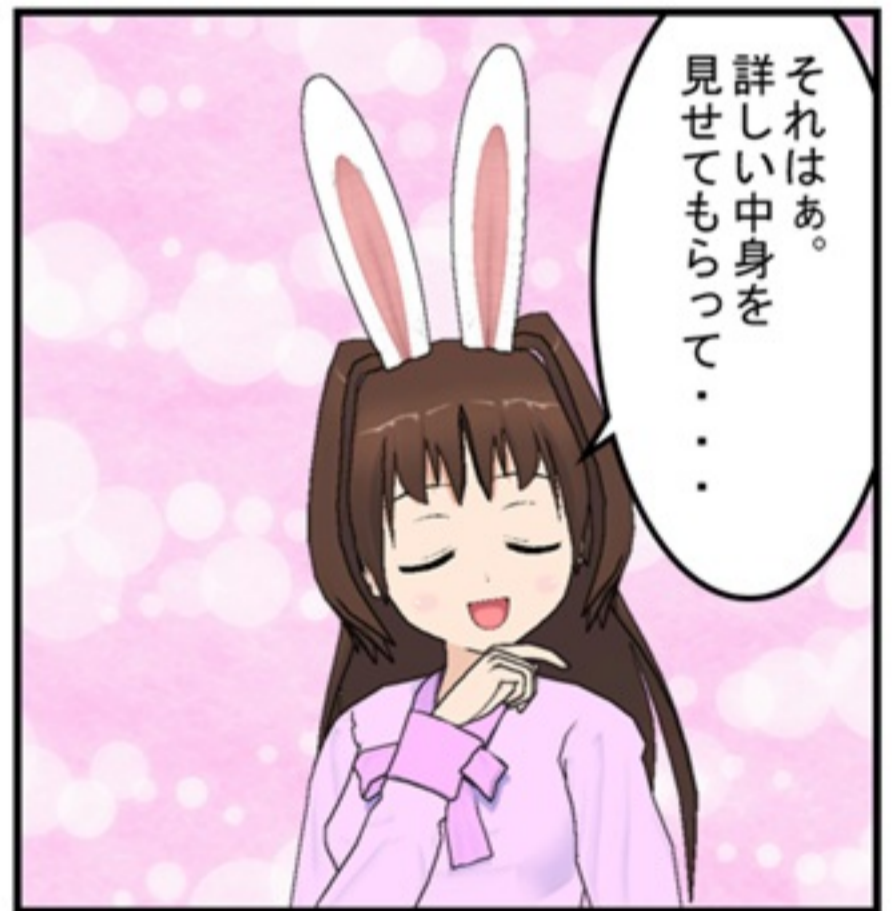


長く使えるもの・・・



何考えてるのかしら。





今回はここまで



解説です。



どうも作者です。
今回は背景素材工房様
からも素材をお借りしました
ありがとうございます。

まずは、前回の

復習から

原則として借金を

してはいけない

大きな理由は、

世代間の公平性

でした。

財政錯覚により

ついつい現在世代

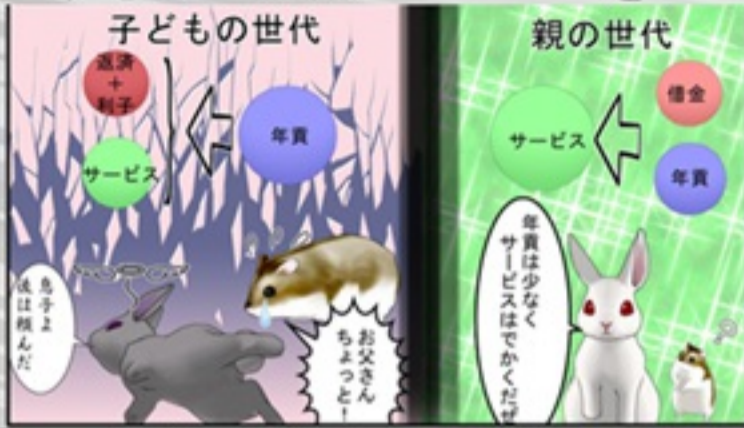
は次の世代に借金

を残しがちに

なるのを防ぐため

に法律でわざわざ

定めているのです

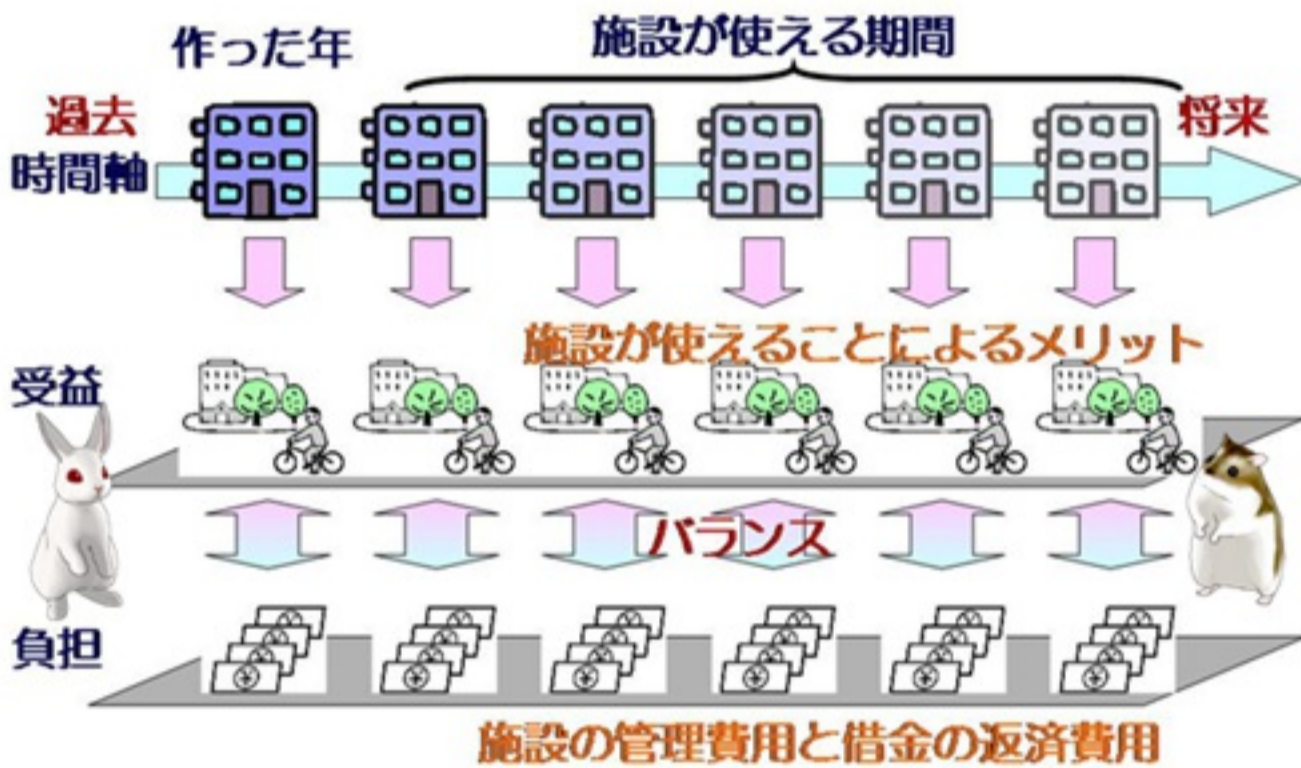


前回長女の愛さんが、言っていたよ
うに、学校や道路みたいに一度に
たくさんお金がかかるものものは、
どうするのでしょうか？

そういう場合は、借金をしてもよい
ということになっていきます。
さつきとは真逆ですね。

でも、借金をしてもよい理由は
実はさつきと同じ「世代間の公平」
なのです。意外ですか？

長い年月にわたって使える施設は、
その使える期間にわたって市民に
メリットがあります。
建設した時代の市民だけではなく、
将来の市民も負担するのが
より公平であるといえます。



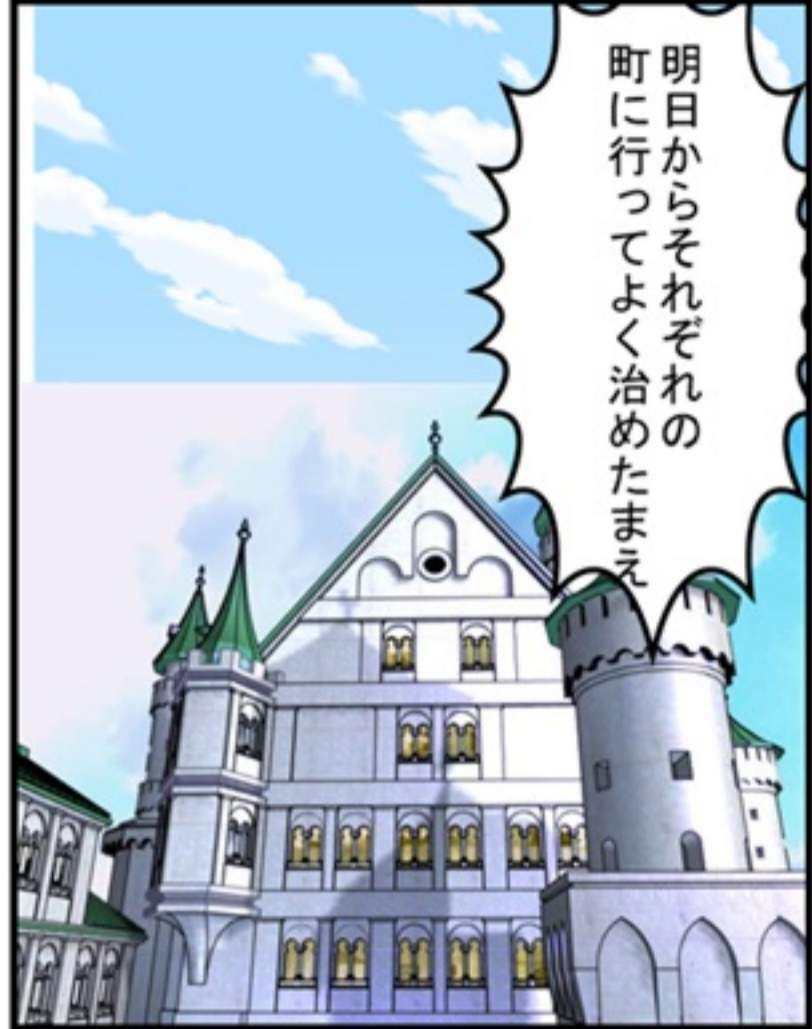
それでは長い間使えるものであれば、
よいのでしょうか。
例えば、借金までして作ったものが、
あまり役に立たない、使われない
ものだったらどうでしょう。
後の世代には借金の返済と、
使わない箱物をお守りする費用ばかり
がのしかかることになります。
これでは、世代の公平性が図られて
いるとはいえませんがね。



いずれにせよ、借金をするときには
後の世代の人たちが今の世代の人たち
が決めた負担を喜んで受け入れられる
ようにしなければならぬのです。
それだけに投資のための借金は重い
ものと思わなければならぬのです。

特に質問がなければ今日はここまでとします。

明日からそれぞれの町に行つてよく治めたまえ



そういえば何か引っかけかかっていた気がするけど

もやもや



ふうっ 疲れた...

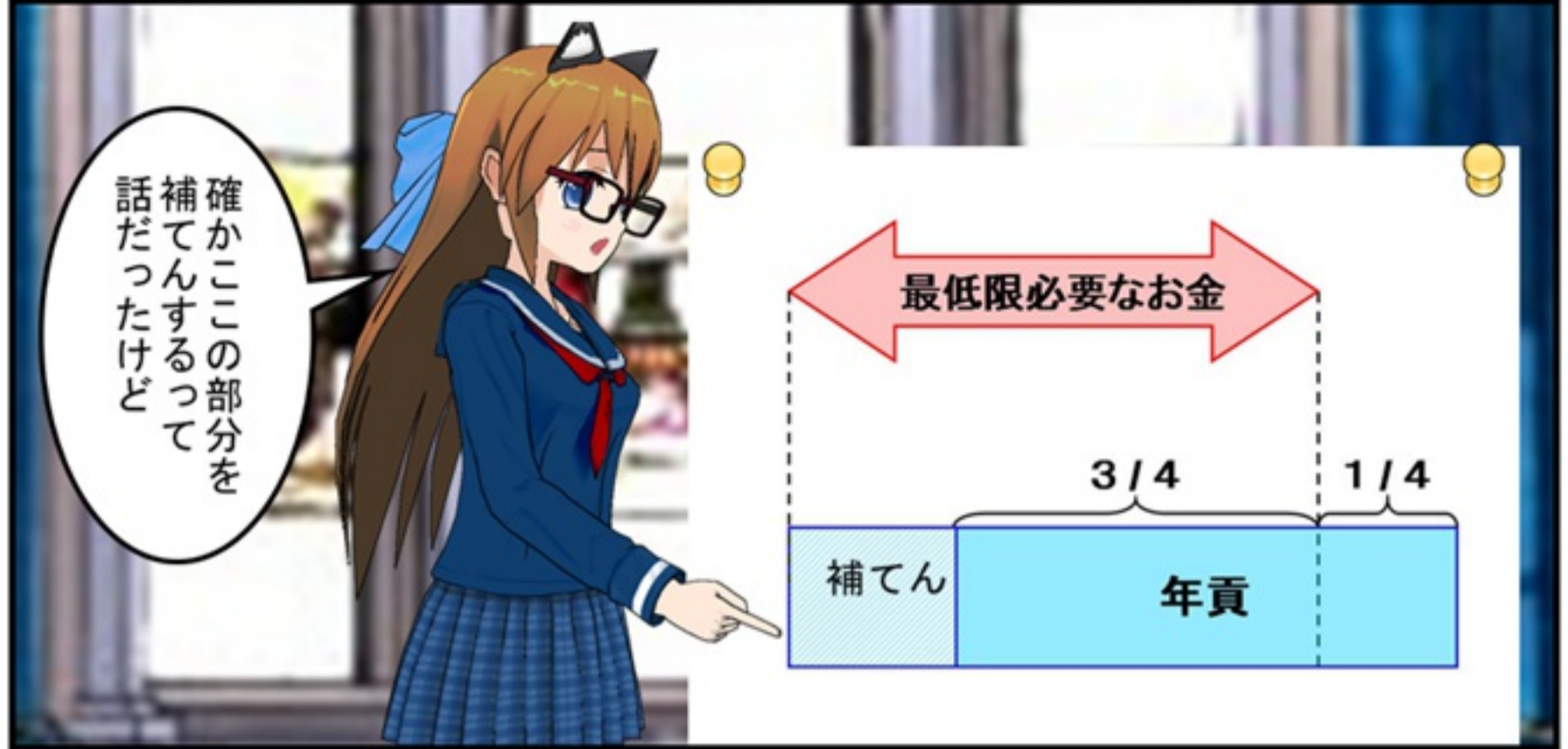
あっそうだ。

はっ!

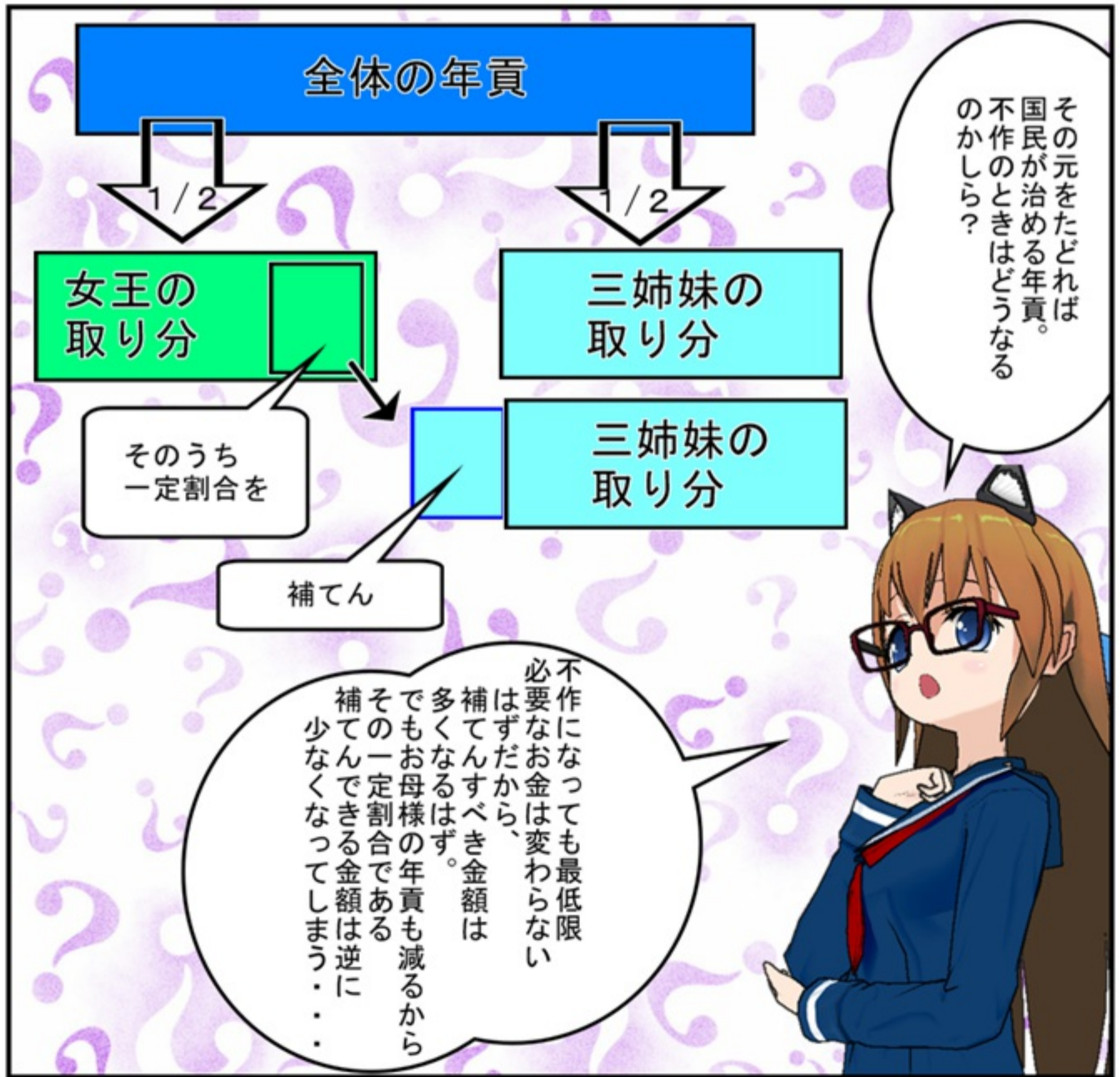
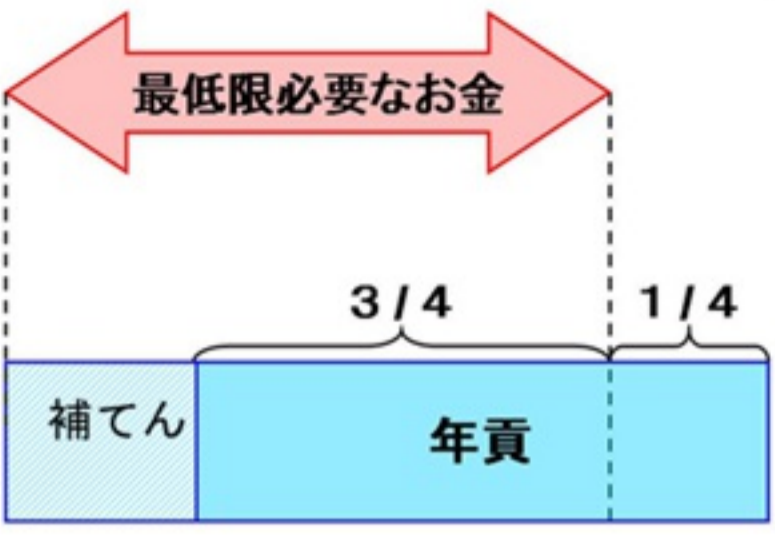


にゃ?



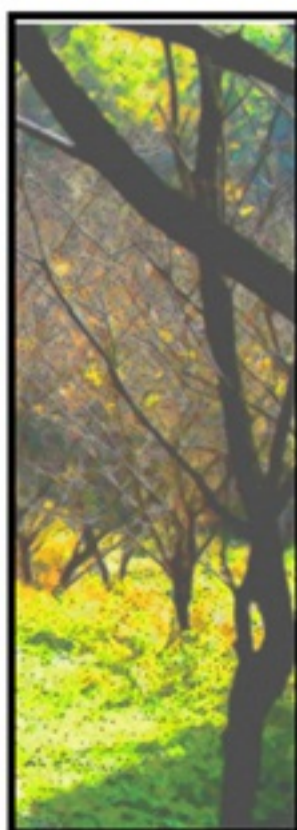


確かこの部分を補てんするって話だったけど



その元をたどれば国民が治める年貢。不作のときはどうなるのかしら？

不作になっても最低限必要なお金は変わらないはずだから、補てんすべき金額は多くなるはず。でもお母様の年貢も減るからその一定割合である補てんできる金額は逆に少なくなってしまう・・・



解説です。



どうも作者です。
今回は背景素材工房様・
ぐったりにゃんこ様より
素材をお借りしました。
ありがとうございます。

前々ページの愛さんの疑問
わかりましたか？

地方交付税は国税のうちの一定の
割合を市や県に補てんするものです。

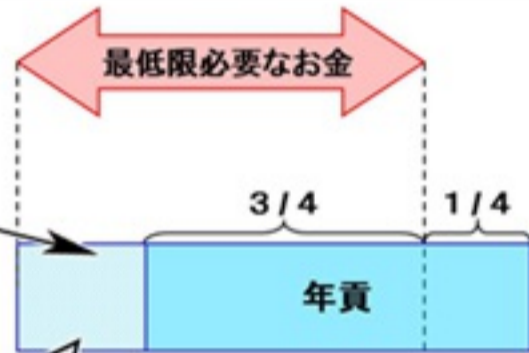
具体的には、所得税・酒税の32%
法人税の34%、消費税の29.5%
たばこ税の25%
と決められています。

従ってリーマンショックのようなこと
があると、法人税が落ちになり、
地方に配分できる地方交付税の元手が
減ってしまうことになります。

一方、それぞれの自治体に補てんさ
れる金額は国の税収とは関係なく
決まるので、補てんすべき金額と、
補てんできる元手は一致しません。

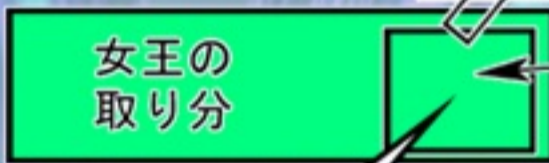


例えば平成22年度の場合
都道府県と市町村あわせて
基準財政収入額が約21.2兆円
これに対し
基準財政需要額は約37.4兆円
従って補てんすべき金額は
差し引き約16.2兆円。
一方、国税のうちの一定の割合は
約9.6兆円と必要な額にまったく
届きません。
足りない分はどうしているの
でしょう。



これが16.2兆円

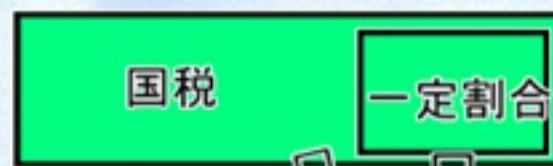
補てん



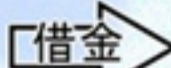
そのうち
一定割合

3コマ目でいうとこういう状態

ドイツなどの場合には、不足しても
補てんしないようですが、
日本の場合は
「交付税及び譲与税配付金特別会計」
という長たらしい名前の特別会計が
不足分を借金して賄っています。
(国の一般会計から一定の割合以上の
お金が出たりもします。)



銀行など



交付税及び譲与税配付金特別会計

補てん



特別会計の借金はいまや33兆円。
国民一人当たり30万円弱。
900兆円以上といわれる国の借金
にも、地方の200兆円の借金にも
含まれない隠れ借金となっています。